

さいたま市水道局における施工パッケージ型積算方式の運用

1 補正式の運用

$$P' = P \times \left\{ \left(\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t}{K1t} + \dots + \frac{K3r}{100} \times \frac{K3t}{K3t} \right) \times \frac{Kr}{K1r + \dots + K3r} + \left(\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t}{R1t} + \dots + \frac{R4r}{100} \times \frac{R4t}{R4t} \right) \times \frac{Rr}{R1r + \dots + R4r} + \left(\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t}{Z1t} + \dots + \frac{Z4r}{100} \times \frac{Z4t}{Z4t} \right) \times \frac{Zr}{Z1r + \dots + Z4r} + \frac{Sr}{100} \times \frac{St}{St} + \frac{100 - Kr - Rr - Zr - Sr}{100} \right\}$$

- | | |
|---|---|
| P' : 積算単価 | Zr : 標準単価における全材料(Z1~Z4, 他)の構成比合計 |
| P : 標準単価 | $Z1r \sim Z4r$: 標準単価における代表材料規格 Z1~4 の構成比 |
| Kr : 標準単価における全機械(K1~K3, 他)の構成比合計 | $Z1t \sim Z4t$: 代表材料規格 Z1~4 の基準単価 |
| $K1r \sim K3r$: 標準単価における代表機械規格 K1~3 の構成比 | $Z1t' \sim Z4t'$: 代表材料規格 Z1~4 の地区単価 |
| $K1t \sim K3t$: 代表機械規格 K1~3 の基準単価 | Sr : 標準単価における市場単価 S の構成比 |
| $K1t' \sim K3t'$: 代表機械規格 K1~3 の地区単価 | St : 市場単価 S の所与条件における基準単価 |
| Rr : 標準単価における全労務(R1~R4, 他)の構成比合計 | St' : 市場単価 S の所与条件における地区単価 |
| $R1r \sim R4r$: 標準単価における代表労務規格 R1~4 の構成比 | |
| $R1t \sim R4t$: 代表労務規格 R1~4 の基準単価 | |
| $R1t' \sim R4t'$: 代表労務規格 R1~4 の地区単価 | |

2 算出方法・端数処理

①上記の「1 補正式の運用」のうち、{ }内の各乗除算部は小数第6位四捨五入、小数第5位止めで計算しています。

<補正式算出過程事例>

$$= 1,703.8 \times \{ (0.01770 + 0.00550 + 0.00550) \times 1.13589 + 0.02934 + 0.01717 + \dots \}$$

0.029338...であれば0.02934

② P' は、有効4桁端数処理(5桁目以降切上)後、小数第3位以下切捨てして計算しています。

<最終算出値端数処理事例>

$$= 266.22 \approx 266.30$$

3 その他

①上記の「2 算出方法・端数処理」の②については、さいたま市水道局独自運用となりますが、その他の施工パッケージに係る運用方法は、さいたま市建設局技術管理課が本市ホームページで公表している「施工パッケージ型積算方式について」と同様です。